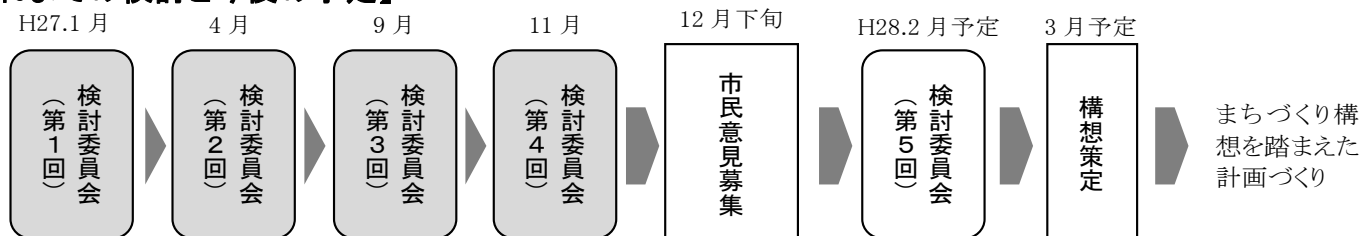


◎ 第4回検討委員会を開催しました

11/26（木）に第4回旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会を開催しました。第4回では、第3回で頂いた骨子案へのご意見を踏まえ作成した「まちづくり構想素案」についてご意見を頂きました。

福岡市では、委員会でのご意見を反映した「まちづくり構想原案」を作成し、12月下旬より約1ヶ月間市民意見募集を実施し、幅広くご意見を頂きながら年度内の構想策定を目指していくこととしています。

【これまでの検討と今後の予定】



◎ 旧大名小学校跡地まちづくり構想素案 ※別紙をご参照下さい

◎ 第4回検討委員会でのご意見

まちづくり構想素案にいただいたご意見と対応については、以下の通りです。

○跡地に備える要素等について

- 校舎の文化的価値を空間全体として考えてほしい。大名小学校は学校番号1番であったこと、福岡市の中心であることを念頭に、今後のまちづくりを検討してほしい。
- オープンな広場であって欲しい反面、効率よく高密度に土地を使いこなしていく課題もある等、跡地に備える要素をどう解いていくかが、計画づくりの大きな課題だと思う。
→跡地には歴史文化性含む6つの多様な要素を兼ね備える必要があり、共存できる機能の組み合わせやデザイン等の検討、校舎等を活かしたシンボルとなる空間づくりに取り組む事を記載しています(素案通り)

○跡地に導入する施設等について

- 地域の暮らしという観点から、風営法の規制に係るような施設の導入、子どもや高齢者の施設等があるといい。
→具体的な施設等については、まちづくり構想策定後に取り組む計画づくりの中で検討していきます(素案通り)

○天神地区に集積する鉄道駅やバスターミナルを活かし、大名地区が利便性を高める事も重要であるし、地下ネットワークを活かし、立体的な土地利用の可能性も今後検討されてはどうか。

→公共交通の集積や歩行者ネットワークが充実するエリアのまちづくりの考え方を2.に記載します(素案修正)

○人が集まってくる場になることで生じる課題（放置自転車や防犯など）に対する対応も考えておくべきではないか。犯罪が起きにくい空間のデザインというのも手法の1つではないか。

→今後の計画づくりの中での検討課題として、6.に記載します(素案修正)

○今回まとめられる構想の趣旨がきちんと伝わっていくことが重要であり、周辺との繋がり方や地域に起こりうる変化など、関係者に丁寧な説明の機会があると、より良い市民意見募集になると思う。

→市民意見募集に際し、様々な機会を捉え、関係者への説明を行っていきます

以上をふまえ、まちづくり構想原案を作成し市民意見募集を実施していくこととします。

次回第5回は、市民意見募集の結果と対応案をお示しし、旧大名小学校跡地まちづくり構想案をとりまとめる予定です。開催は来年2月頃を予定しています。

◎ お問い合わせ

旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会 事務局

福岡市 住宅都市局 都市づくり推進部 都心再生課 光益、定講

電話:092-711-4426 ファックス:092-733-5590 Eメール:toshin-s.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

ホームページ:<http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/kaihatsu/toshi/kyudaimyosyogakkoatochi.html>